

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

00

昭和十三年二月
『企畫』第一卷第二號所載

北支に於ける鐵鑛資源

小澤正元

野本氏蔵
手記七巻

第三號

北支に於ける鐵鑛資源

一、全支並北支に於ける鐵鑛埋藏量

支那全土に於ける鐵鑛の埋藏量は或は一億噸と謂ひ、或は三億噸と稱せられ、甚だ漠然としてゐるが、最近に於ける比較的正確の數字と認められてゐる國民政府實業部北平地質調査所の第五次中國鑛業紀要によつて見れば、全支の確實埋藏量が二億七千四百萬噸、豫想埋藏量四千八百萬噸で、合計三億二千二百萬噸といふことになる。ところが北支那方面の合計は一億七千四百萬噸であるから、北支那の鐵鑛は全支埋藏量の二分の一を越えてゐるわけである。(序でながら、同調査所の調査によれば、遼寧省(今の奉天省)の鐵鑛埋藏量は三億八千七百萬噸、生鐵含有量一億五百万噸といふから、滿洲國の獨立によつて支那は全支鐵鑛資源の大半を喪失し、いまた更に北支の新政權獨立によつて、残りの大半を失つたことになる。)

	確實埋藏量	豫想埋藏量	合計	%
北支地方	一四一、五〇九	三三、〇九五	一七四、六〇四	五四
長江流域	一〇二、二二〇	九、五八〇	一一一、八〇〇	三五
東南沿海區	三〇、四八八	六、〇二四	三六、五一二	一一
合計	二七四、二一七	四八、六九九	三三三、九一六	一〇〇

(第五次中國鑛業紀要に據る、單位噸)

北支那に止まらず、全支の重要な鐵鑛につきその埋藏量を掲げて參考に資する。この表は北平地質調査所作成の北支に於ける鐵鑛資源

もので、「北支那鐵業紀要」の附録に收められてゐるものである。

支那鐵鑛埋藏量表

區別	埋藏量噸數	根 據	備 考
宣化龍關察哈爾	九一、六四五、〇〇〇	Tegenren	谷底以上或は地下數十米迄
灤縣河	三二、四二四、〇〇〇	"	"
金嶺鎮山	一三、七〇〇、〇〇〇	"	"
易縣河	一、五〇〇、〇〇〇	"	鑛質成分劣等
井陘縣	七、七五五、〇〇〇	H. C. Tan	
費縣	六、四〇〇、〇〇〇	H. S. Hang	
開灤鐵區	一、五〇〇、〇〇〇	C. C. Sun	花崗岩中に結晶せる鑛鐵鑛
固陽公義明	七〇〇、〇〇〇	Tegenren	
撫寧臨榆間	三五〇、〇〇〇	"	
綏遠白雲鄂博及陝甘等	二〇、〇〇〇、〇〇〇	"	谷底以上或は地下數十米迄
紅山	七、四〇〇、〇〇〇	"	
利國	三、〇〇〇、〇〇〇	"	
信陽	二、〇〇〇、〇〇〇	C. C. Sun	谷底以上或は地下數十米以内
銅官	四、九二一、〇〇〇	Tegenren	
雞冠山	四〇〇〇、〇〇〇	"	
大冶漢冶萍	一〇、五〇〇、〇〇〇	"	
大冶象鼻山	八、八〇〇、〇〇〇	C. Y. Hsieh	
當塗	六、二九八、〇〇〇	"	

長龍山	四、六四五、〇〇〇	"	深さ百米迄の計算
鳳凰山	四、四三七、〇〇〇	Tegenren	谷底以上の計算
城門山	六、三〇〇、〇〇〇	Wang & Wang	"
靈城	六、三四〇、〇〇〇	Tegenren	"
鄂城	一〇、〇〇〇、〇〇〇	"	"
長興	五、一三〇、〇〇〇	廣東地質調査所	深さ百米以上の計算
連花	六、二九九、〇〇〇	P. Kao	
萍鄉	二、〇〇〇、〇〇〇	Y. K. Ting	湖南地質調査所
沅陵	一、〇五〇、〇〇〇	"	地面下五十米迄の計算
安化	二、一六〇、〇〇〇	Y. L. Wang	"
錫山	三、六〇〇、〇〇〇	C. C. Chang	斷層面迄の計算
茶陵	三、九〇〇、〇〇〇	Y. Q. Cheng	
寧鄉	一、一八四、〇〇〇	Y. L. Wang	
瑞昌銅登山	五八〇、〇〇〇	Y. C. Cheng	
宜都	四、〇〇〇、〇〇〇	Tegenren	
攸縣	四、〇〇〇、〇〇〇	C. Y. Hsieh	
攸江	一、〇〇〇、〇〇〇	"	
香港馬鞍山	九一〇、〇〇〇	Tegenren	谷底以上の計算
華安潭	一、三〇〇、〇〇〇	Y. L. Wang	
安溪	七、八〇〇、〇〇〇	C. C. Cheng	
安溪	一、四六二、〇〇〇	C. Y. Hsieh	
安溪	一、四六二、〇〇〇	H. C. Tan & P. Kao	
雲浮	六〇一、六〇〇	"	

紫 金 廣 東 一、一四〇、〇〇〇
 建 德 淳 安 浙 江 二、〇二四、〇〇〇
 廣 東 廉 江 仰 塘 及 其 他 四、〇〇〇、〇〇〇
 全 支 合 計 三、三二一、九一六、〇〇〇

廣東地質調査所

次に全支の鐵鑛埋藏量について或は實測により或は推定によつて、各別の視角から調査或は觀察された統計を、參考として左に掲げる。これは支那の統計の誤差をいふものが、如何に大きいかを示してゐると共に、支那の資源調査なるものが、従來此の程度に困難なものであつたことを示すものである。

鐵 鑛 保 有 量 (單位千噸)

調査者年代	埋藏(千噸)	地質調査所(一九二六年)	埋藏(千噸)	實業部(一九三四年)
地方	含量(千噸)	含量(千噸)	含量(千噸)	含量(千噸)
河北省	三、〇〇〇	九、六〇〇	九、一四七九	三、一四三
河南省	二〇〇	二、六〇〇	二、九二〇	未探
山東省	一、三〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇	一、七〇〇
金嶺鎮	七〇〇	四、五〇〇	七、四〇〇	七、四〇〇
河南省	七〇〇	四、五〇〇	七、四〇〇	七、四〇〇
紅鳳嶺	七〇〇	四、五〇〇	七、四〇〇	七、四〇〇
鳳凰嶺	七〇〇	四、五〇〇	七、四〇〇	七、四〇〇
紅鳳嶺	七〇〇	四、五〇〇	七、四〇〇	七、四〇〇
新鄉	七〇〇	四、五〇〇	七、四〇〇	七、四〇〇

省	縣	埋藏(千噸)	地質調査所(一九二六年)	埋藏(千噸)	實業部(一九三四年)
省	縣	含量(千噸)	含量(千噸)	含量(千噸)	含量(千噸)
廣東	馬山	一〇、五〇〇	五、三六〇	二、九七〇	四〇〇
湖北省	漢陽	八、八〇〇	五、〇七〇	六、三三八	六〇
湖北省	象鼻	六、八〇〇	三、八四〇	一〇、一〇〇	五、四
湖北省	靈鄉	一〇、〇〇〇	五、四五〇	四、六二	五、六一五八
湖北省	鄂城	一〇、〇〇〇	五、四五〇	四、六二	五、六一五八
安徽省	李官	一〇、〇〇〇	五、四五〇	四、六二	五、六一五八
安徽省	銅官	一〇、〇〇〇	五、四五〇	四、六二	五、六一五八
安徽省	桃冲	一〇、〇〇〇	五、四五〇	四、六二	五、六一五八
安徽省	南冲	一〇、〇〇〇	五、四五〇	四、六二	五、六一五八
安徽省	羅山	一〇、〇〇〇	五、四五〇	四、六二	五、六一五八
安徽省	四山	一〇、〇〇〇	五、四五〇	四、六二	五、六一五八
安徽省	東山	一〇、〇〇〇	五、四五〇	四、六二	五、六一五八
安徽省	平山	一〇、〇〇〇	五、四五〇	四、六二	五、六一五八
安徽省	黃梅	一〇、〇〇〇	五、四五〇	四、六二	五、六一五八
安徽省	鐘山	一〇、〇〇〇	五、四五〇	四、六二	五、六一五八
安徽省	姑山	一〇、〇〇〇	五、四五〇	四、六二	五、六一五八
安徽省	Tao yi	一〇、〇〇〇	五、四五〇	四、六二	五、六一五八
安徽省	冠山	一〇、〇〇〇	五、四五〇	四、六二	五、六一五八
安徽省	雞山	一〇、〇〇〇	五、四五〇	四、六二	五、六一五八
安徽省	利國	一〇、〇〇〇	五、四五〇	四、六二	五、六一五八
安徽省	北支に於ける鐵鑛資源	一、五〇〇	三、五〇〇	一、五〇〇	三、〇〇〇

鳳凰山	4,100	2,150	—	1,000	—	550
浙江省	—	—	11,000	1,040	—	—
景牛山	100	—	—	—	11,000	—
福建省	—	—	7,400	—	—	—
Su-Luan	1,000	1,000	—	—	—	—
江西省	—	—	18,000	—	—	—
城門山	6,300	2,600	—	—	—	6,266
銅嶺山	5,600	300	—	—	—	5,800
合計	8,555	5,516	29,019	1,040	—	11,755

(註) F. R. Tegengren: The Iron Ores and the Iron Industry of China, Peking, 1924. 一九三四年は中國經濟年鑑より抽出。山西、陝西、湖南其他諸省土法によるものあるは、未調査に就き計上せず。
(東亞同文會「最新支那年鑑」昭和十年版による)

二、北支に於ける主要鐵鑛及製鐵業

1. 主要なる鐵鑛

北支那の鐵鑛中、最も主要な部分は察哈爾省に屬し、次いで、河北、山東の順序である。察哈爾省に就いて第一に擧ぐべきは龍烟鐵鑛である。北支のみならず支那第一と稱される。この鐵鑛の豊富なるは問題のないところであるが、この鐵鑛を如何に現地製鐵するか問題が懸つてゐる。(前表中、宣化龍關とあるは即ちこの龍烟鐵鑛である)。最近発見された涿鹿鐵鑛は將來ある重要な鐵鑛と目されてゐる。

河北省は主として、冀東地區であつて、灤縣、臨榆、撫寧等に埋藏量約三千萬噸位の鐵鑛が散在してゐるが、鐵分品位が三十%弱であることと分散してゐるために、利用價值は少いものとされてゐる。

山東省には、金嶺鎮がある。これは鐵分の平均品位六十二・三%の富鑛であるが、今日まで殆ど採掘されてゐない。

山西省には三千萬噸の鐵鑛が埋藏されてゐると謂はれてゐるが、分散的に存在してゐること、地下深部に不規則に横はつてゐるのと、從來は地表部分のみが土法によつて採掘されてゐたに過ぎない。

龍煙、金嶺鎮、涿鹿等の主要鐵鑛の概要は左の如くである。

龍煙鐵鑛

(沿革) 察哈爾省宣化縣所在の煙筒山、龐家堡及龍關縣の辛密等の鐵鑛の採掘及精練を目的として、大正七年(民國七年)三月、官商合辦の龍煙鐵鑛会社が資本金五〇〇萬元を以て設立されたが、其後資金不足のため經營不振であつたところ更に歐洲大戰後の鐵價暴落に影響されて、業務中止のまま、放置されたが、後に察哈爾政務委員會は鑛業法を引用して、これを國營とすべき旨を決議した。事變後は當然察南自治政府の治下に屬し、事業一新の機運に際會してゐる。

(所在地) 龍煙鐵鑛は察哈爾省の宣化、龍關及懷來の三縣に互つて存在する北支第一の鐵鑛で、宣化縣の煙筒山、龐家堡、龍關縣の辛密、麻峪口、懷來縣の老君山等を總稱する。

煙筒山は京綏線宣化驛の北々東十軒の地點にあり、龐家堡は宣化驛の東方四十二軒、辛密は驛の北東々七六軒にある。麻峪口及老君山はいふに足りない以下この三鑛について述べる。

北支に於ける鐵鑛資源

〔地質〕地質は太古代、原生代及第四紀層が發達してゐるが、殆ど全般に互つて黄土に被はれてゐるので、露出部は比較的少い。鐵鑛層は原生代を構成する硅岩、硅質砂岩、板岩及石灰岩等の中に含有されてゐる。

鐵鑛層は西は煙筒山から東は龍關の東方三叉口に互つて分布し、煙筒山、龐家堡、辛寨の三區域は特に大規模である。

煙筒山は西山、北山、南山、東山の四地域に互り、その延長は東西約一・五軒、南北約一軒である。

龐家堡の全延長は八・六軒で、地層は稍亂脈あり、傾斜は全般に互つて變化が少く、將來最も期待されてゐる。

辛寨の鐵鑛層は辛寨部落の北部と南部とにあり、前者は斷層によつて後者より移動したものである。主要部は南部にあつて、その延長は五・七軒である。北部層は七七〇米延長してゐる。

品質は全般的に硅酸と鐵分とは反比例して含まれてゐる。平均含有率は煙筒山五一・六〇%、龐家堡は五七・六三%、辛寨は四五・七八%と謂はれてゐる。

〔埋藏量〕埋藏量については國民政府の調査と、滿鐵の調査とについて見ても、かなり開きがあるが、後者の近い數字を紹介する。(後掲の滿鐵天津事務所刊「北支鑛産要覽」の數字参照)

水準面以上 (單位應)	
煙筒山	一三、九〇五、〇〇〇
龐家堡	二九、五三四、二〇〇
辛寨	一五、〇五八、〇〇〇
計	五八、四九七、二〇〇

この他三叉口、近北庄等の鑛量を五〇〇、〇〇〇應と推定すれば、水準面以上の合計は約五九、〇〇〇、〇〇〇應となる。

水準面以下 (單位應)	
煙筒山	一、二八二、〇〇〇
龐家堡	一七、〇四三、〇〇〇
辛寨	七、七二一、〇〇〇
計	二六、〇四六、〇〇〇
總計	八五、五四三、八〇〇

金嶺鐵鑛

〔沿革〕明治三十八年(一九〇五)ドイツ人によつて始掘された鑛山であつて、愚公山、土山、鳳凰山、玉皇山、西谷、四寶山、東谷等に試錐の跡がある。

歐洲大戰後、日本は之を正式に繼承して大正八年に出鑛を見たが、國民政府へ山東還附後はこれを閉鎖し、鑛區は魯大公司の所有するところとなつてゐる。

〔所在地〕金嶺鎮は山東省益都縣にあり、膠濟鐵道金嶺鎮驛の北々西一八支里の地點にある。

〔地質〕鑛區の大部分は山東省北部平原に當り、海拔五〇米前後の沖積平野であるが、鑛山附近の山地は古生代奥陶紀層及二疊石炭紀層と、その中に進入してゐる内綠岩の岩盤によつて構成され、その内綠岩は其の縁邊に於いて馬蹄型に奥陶紀石灰岩と接觸してこれに接觸作用を與へ、種々の鑛床を伴ふ鐵鑛鑛體を造生してゐる。就中、鐵山、玉皇山西谷及西寶山は磁鐵鑛が多量に集合して鑛床をなしてゐるといふ。

北支に於ける鐵鑛資源

品質は、支那側の分析結果によれば、試料五十二種の平均品位は六一%であるが、滿鐵の鑛山調査による平均品位は五四・六四%である。

(埋藏量)

推定鑛量 一〇,一六三,八四六噸
推定残存鑛量 一〇,〇三〇,九六九噸
可採鑛量 六,三三九,一一一噸

涿鹿鑛鑛

(沿革) 涿鹿鑛鑛とは察哈爾省涿鹿縣城の南方蔡家溝、塔院、刁窩溝等の鑛鑛の總稱であつて、滿鐵調査班の發見によつて、世の注目を惹くに至つた鑛山である。

(所在地) 察哈爾省の宣化縣、懷來縣に互る刁窩溝、段家安、塔院、蔡家溝の廣範圍に及び、その中心地たる塔院は平綏鐵路下花園驛の南々西九〇支里の地點、涿鹿縣城から南五〇支里の地點にある。

(地質) 地質は基盤をなす片麻岩とこれを不調整に被ふ震旦紀層とより成り、鑛鑛は片麻岩の上に不整合に横はる。鑛床の範圍は東西五軒、南北三軒に互り、鑛層の状態によつて三區に分類され、その品質は左の如くである。

- 第一區 (イ) 蔡家溝區 (ロ) 塔院區——品質良好平均品位五〇・一%
- 第二區 刁窩溝區——品質稍良好、平均品位三七・七四%
- 第三區 (イ) 段家安區 (ロ) 果園區——品質不良

(埋藏量)

第一區 約五,〇〇〇,〇〇〇噸
第二區 約一,五〇〇,〇〇〇噸
第三區 (推定に値せず)
合計 約六,五〇〇,〇〇〇噸

河北の諸鑛鑛

河北省に於けるその他の鑛鑛としては灤縣の司家營、盧龍縣の桃園、張家莊、吳家莊、遷安縣の西閣寺等が數へられる。最近の滿鐵の調査によつて大體全貌が明かとなつたが、次表の如く貧鑛のために、當分その開發は遅れるであらう。

それらの持つ平均品位及埋藏豫想量數は次の如くのである。

地名	縣別	平均品位	埋藏豫想量 (單位噸)
司家莊	灤縣	三〇・四六%	一,〇六八万噸
桃園	盧龍縣	四五%	二万—三万噸
張家莊	〃	三八%	二〇〇万噸
吳家莊	〃	三六・八七%	一一〇万噸
西閣寺	遷安縣	三三・四二%	二二〇万噸

2. 製鐵鋼業

北支に於ける製鐵鋼業は、事變前現在に於いて龍煙鐵鋼公司石景山製鍊所、陽泉保晉鐵廠、育才鋼廠、西北實業公司西北鍊鋼廠(設立豫定)等を數へるに過ぎないが、しかも保晉鐵廠を除いて操業すら開始してゐない状態であつた。

北支に於ける鐵鑛資源

なほ山西省には土法による製鐵が行はれてゐたことを忘れてはならぬ。

(一) 龍煙鐵礦公司石景山製鐵所

龍煙鐵礦公司が自鑛處理を目的として民國十一年頃北京の西方石景山に製鐵所を設け二百五十噸熔鑪一基を据付け、年産鉄鐵八萬噸生産を企圖したが、八分通り竣工の際世界大戰終結して資金缺乏のため、遂に操業開始に至らず、空しく風雨に曝されて今日に至つたものである。

(二) 保晉鐵廠

山西省保晉鐵廠公司に屬し、正太線陽泉驛の附近にあり、三十噸熔鑪一基、年産六、〇〇〇噸の豫定の下に民國十五年七月以來操業をつゞけてゐた。その生産狀況は次の如くである。(單位噸)

民國十五年	四、八〇〇
〃 十六年	四、〇〇〇
〃 十七年	四、八一四
〃 十八年	二、八三八
〃 十九年	二、五八七
〃 二十年	五、五六三
〃 二十一年	一
〃 二十二年	五、二〇〇
〃 二十三年	三、六八〇
(廿四年以降不明)	

北支に於いて活動せる唯一の製鐵工場であるが、供給鑛石は山西に散在せる鐵鑛を土法によつて採掘したものであ

つて、大規模工場としての發展性は種々の點から制約されてゐるのである。

(三) 西北實業公司鍊鋼廠

山西省政府の計畫に屬し、民國廿一年鍊鋼籌備委員會を組織し、二十三年四月計畫案を完成し、二十四年四月正式に著工し、二十五年三月開業の豫定であつたが、財政的困難及共匪進入等に妨げられ、そのまゝ今日に至る。その設立計畫によれば、資金五百十四萬元熔鑪は一二〇噸一基、四〇噸一基で日産一六〇噸を見ることになつてゐる。

(四) 育才鋼廠

山西省太原にあり、鉄鋼一貫作業にして、三〇噸爐二基の製鋼設備を有し、西北實業公司の所屬に歸してゐた。

(五) 土法製鐵

土法製鐵は鐵鑛の分散せる山西省各地に相當活潑に行はれてゐる。就中平定、晉城、高平等の諸縣に盛であり、次いで長治、昔陽、沁源、和順の諸縣に於て著しい。山西の土法による製鐵生産高は年約五萬噸に達すと謂はれてゐる。

三、中支に於ける鐵鑛

江蘇、浙江、安徽、河南、湖北の中支五省に存する鐵鑛を參考として簡単に紹介する。この内容は殆ど國民政府實業部編「中國經濟年鑑」民國廿四年版(一九三五)によつたもので、備考欄に未採、停止等とあるは一九三一年現在に於ける北支に於ける鐵鑛資源

る状態である。

利國鐵礦

(所在地) 江蘇省銅山縣利國驛
 裴家山、東馬山、西馬山、銅山島勵家灣山
 (交通) 津浦線に甚だ近し、運河には數料
 (埋藏量) 三〇〇、〇〇〇噸
 (品質) 含鐵量 五五% 含磷量 六%
 (備考) 未採

秣稜公司

(所在地) 江蘇省江寧鳳凰山
 (交通) 南京より五五支里
 (埋藏量) 二、〇〇〇、〇〇〇噸
 (品質) 含鐵量 五五%
 (備考) 未採

長程公司

(所在地) 浙江省長興景牛山
 (交通) 太湖の西南
 (埋藏量) 五、一三〇、〇〇〇噸
 (品質) 赤鐵礦 五〇% 褐鐵礦 三三%
 (生産額) 不明

福利民鐵礦公司

(所在地) 安徽省當塗縣
 小姑山、南山、扇面山、代山、小凹山、妹子山
 (會社組織) 民營、日本人監督に當る
 (資本) 一百万円
 (埋藏量) 二、〇〇〇、〇〇〇噸
 (品質) 含鐵量 五〇% 乃至 六〇%
 (生産額) 鑛石年産 一九二八年 四五四噸
 一九三一年 五〇、〇〇〇噸

益華鐵礦公司

(所在地) 安徽省、當塗縣、燕蒲山至馬鞍山
 (組織) 官民合辦
 (資本) 民間側二十萬元 政府側三十萬元
 (埋藏量) 一五〇、〇〇〇噸
 (品質) 磁鐵礦 五七三%
 (生産額) 鑛石 一九二八年 一〇、三八〇噸

振冶鐵礦公司

(所在地) 安徽省當塗縣鑛山
 (埋藏量) 三〇〇、〇〇〇噸
 (品質) 赤鐵礦 含鐵 五〇% 乃至 五五%

寶興鐵礦公司

(所在地) 安徽省當塗縣平嶋崗、黃梅山、大凹山、大東山
 (資本) 四十五萬元
 北支に於ける鐵礦資源

(埋藏量) 平峴崗 二〇〇、〇〇〇噸
 黃梅山 二〇〇、〇〇〇噸
 大凹山 一、五〇〇、〇〇〇噸
 大東山 二〇〇、〇〇〇噸
 (鑛質) 磁鐵鑛、赤鐵鑛六〇%
 (生産額) 鑽石年産 一九二八年 六四、〇〇〇噸
 一九三一年 一三五、〇〇〇噸
 一九三三年 三七、九三九噸
 一九三四年 一一〇、二六五・五噸
 一九三五年 一三五、五〇〇・二五噸
 (凹山及東山に就き)

裕繁鐵鑛公司

(所在地) 安徽省繁昌縣桃冲、長龍山、金石墩、昌華鑛區
 (組織) 日支合辦
 (資本) 一百二十萬元
 (埋藏量) 四、六四五、〇〇〇噸
 (鑛質) 赤鐵鑛 含鐵六一・四%
 (生産額) 鑽石年産 一九二八年 一一二、三九〇噸
 一九三一年 二六五、〇〇〇噸
 (備考) 現在採掘中

涇銅鐵鑛公司

(所在地) 安徽省銅陵縣東南六・五軒銅官山

(組織) 官民合辦
 (埋藏量) 五、〇〇〇、〇〇〇噸
 (鑛質) 赤鐵鑛、磁鐵鑛、褐鐵鑛含鐵五五%
 (備考) 未探
 銅陵冠山鐵鑛
 (所在地) 安徽省銅陵
 (埋藏量) 四、〇〇〇、〇〇〇噸
 (備考) 未探
 鳳凰嶺鐵鑛
 (所在地) 河南省修武縣鳳凰嶺鐵鑛
 (埋藏量) 一五〇、〇〇〇噸
 (鑛質) 赤鐵鑛 富鐵含鐵量 四八・七%
 貧鐵 二七・八%
 (備考) 未探
 宏豫公司
 (所在地) 河南省修武新鄉
 (埋藏量) 一、〇一九、〇〇〇噸
 (備考) 現在停工
 紅山鐵鑛
 (所在地) 河南省武安縣西南二〇軒
 (埋藏量) 七四〇、〇〇〇噸
 (鑛質) 赤鐵鑛、磁鐵鑛 含鐵五五%
 北支に於ける鐵鑛資源

紅砂坨堆鐵礦

(所在地) 河南省沁陽縣東北八〇支里
(埋藏量) 富鐵 二八九、八八六噸
貧鐵 五七九、七七四噸

(備考) 赤鐵礦、褐鐵礦
未採

漢冶萍公司

(所在地) 湖北省大冶西北十五軒

(組織) 民營

(埋藏量) 一七、三〇〇、〇〇〇噸

(鑛質) 赤鐵礦 含鐵五〇%乃至六五%

(生產額) 年產 一九二八年 四一九、九五〇噸

一九二九年 三四四、九三九噸

一九三〇年 三七七、六六七噸

一九三一年 四二五、〇〇〇噸

(備考) 現在停工

象鼻山

(所在地) 湖北省大冶縣

(組織) 省營

(埋藏量) 八、五三八、〇〇〇噸

(生產額) 年產 一九三〇年 一二八、〇九六噸

一九三二年 八三、一六五噸

靈鄉鐵礦

(所在地) 湖北省鄂城西南六八軒

(埋藏量) 六、三四〇、〇〇〇噸

(鑛質) 含鐵六〇%

(備考) 未採

鄂城西山雷山鐵礦

(所在地) 湖北省大冶鐵礦南方二五軒

(埋藏量) 一〇、二〇〇、〇〇〇噸

(鑛質) 赤鐵礦 含鐵 五四%以上

(備考) 未採

四、鐵に關する諸統計

鐵礦埋藏量その他既に掲げた統計以外の主要な統計を左に緝録する。主要鐵礦の産額表、製鐵能力及鉄鐵産額、土法による鐵鑛及鉄鐵産額表等であつて、これ等はすべて國民政府調査にかゝる「北支那鑛業紀要」(滿鐵天津事務所刊行)によるものである。なほ參考として、北支那の鐵鑛資源一覽として最も便利な「北支那鑛産要覽」を再録した。

支那主要鑛山鐵鑛産額表 (單位噸)

年 別	民國二十年	民國二十一年	民國二十二年	民國二十三年
産 地	(一九三二)	(一九三三)	(一九三三)	(一九三四)
北支に於ける鐵鑛資源				

支那製鐵能力及最近製鐵產額表 (單位噸)

公司名	地點	爐數	能力	民國二十一年 (一九三二)	民國二十二年 (一九三三)	民國二十三年 (一九三四)
漢冶萍公司	石景山	一	二五〇	三六六,三三九	三八二,〇〇〇	三八二,〇〇〇
龍烟公司	漢陽	二	二五〇	七二,九八四	七〇,〇〇〇	七〇,〇〇〇
同治	大冶	二	四七五	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	二八,〇〇〇
六河溝鐵廠	陽泉	一	一〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	八,〇〇〇
保晉鐵廠	陽泉	一	二〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
宏興鐵廠	東鄉	一	二五	一七,五〇〇	一七,五〇〇	一八,〇〇〇
和興鐵廠	浦東	一	二五	一七,五〇〇	一七,五〇〇	一八,〇〇〇
土法製鐵	產額			七二六,八三三	九五〇,〇〇〇	九五〇,〇〇〇
合計				七二六,八三三	九五〇,〇〇〇	九五〇,〇〇〇

支那製鐵能力及最近製鐵產額表 (單位噸)

公司名	地點	爐數	能力	民國二十一年 (一九三二)	民國二十二年 (一九三三)	民國二十三年 (一九三四)
漢冶萍公司	石景山	一	二五〇	三六六,三三九	三八二,〇〇〇	三八二,〇〇〇
龍烟公司	漢陽	二	二五〇	七二,九八四	七〇,〇〇〇	七〇,〇〇〇
同治	大冶	二	四七五	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	二八,〇〇〇
六河溝鐵廠	陽泉	一	一〇〇	五,〇〇〇	五,〇〇〇	八,〇〇〇
保晉鐵廠	陽泉	一	二〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
宏興鐵廠	東鄉	一	二五	一七,五〇〇	一七,五〇〇	一八,〇〇〇
和興鐵廠	浦東	一	二五	一七,五〇〇	一七,五〇〇	一八,〇〇〇
土法製鐵	產額			七二六,八三三	九五〇,〇〇〇	九五〇,〇〇〇
合計				七二六,八三三	九五〇,〇〇〇	九五〇,〇〇〇

支那製鐵年產額見積表 (單位噸)

省別	鐵礦石	銑鐵
陝西	一八〇	五〇
山西	一八〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇
河南	二五,〇〇〇	八,〇〇〇
安徽	五,〇〇〇	一,六〇〇
浙江	三〇〇	一〇〇
福建	三〇〇	一〇〇
四川	六〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇
廣東	三〇,〇〇〇	九,〇〇〇
廣西	一,五〇〇	三,三五〇
貴州	三〇〇	七五
雲南	一,五〇〇	五〇〇
其他	八〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
合計	四〇九,五八〇	一三八,七二七

註
 韓城留壩等の諸縣
 平定、晉城、長治、沁源、高平諸縣
 信陽、商城諸縣
 立煌、霍山諸縣
 廬江上流諸縣
 建甌、松溪、浦城、首縣、福清、寧陽、龍岩諸縣
 綦江、建昌、天全、威遠、榮經諸縣
 紫金、興寧諸縣
 中渡、橫縣、武昌、賀縣
 貴陽、平越、桐梓等
 雙江、保山、蒙化、鶴慶諸縣

北支に於ける鐵礦資源

(小澤 正元)

昭和十一年四月 製鐵株式會社			
項目	金額	單位	備註
資本金	100,000,000	圓	
準備金	20,000,000	圓	
負債	10,000,000	圓	
純資産	110,000,000	圓	
現金	5,000,000	圓	
債権	5,000,000	圓	
固定資産	100,000,000	圓	
土地	10,000,000	圓	
建物	20,000,000	圓	
機械	70,000,000	圓	

昭和十一年四月 製鐵株式會社
 貸借対照表
 昭和十一年四月三十一日現在
 金額 圓

資本金 100,000,000
 準備金 20,000,000
 負債 10,000,000
 純資産 110,000,000

現金 5,000,000
 債権 5,000,000
 固定資産 100,000,000
 土地 10,000,000
 建物 20,000,000
 機械 70,000,000

北支に於ける鐵鑛資源

鐵公司名又は	所在地	資本關係	資本額	埋藏量	鑛質	採掘額	交通	備考
費縣鐵鑛公司	山東省費縣	日委合辦	10,000,000元	600,000噸(1)	鐵五分、硫〇.二乃至〇.六、磷一〇%、矽一〇%、砒五分	探掘中止	南部山支交通不便、膠濟線より三軒	鑛鑛體を有するも採業せず
龍煙公司	察哈爾省宣化府龍煙縣	日委合辦	5,000,000元	1,300,000噸(1)	鐵五分、硫〇.二乃至〇.六、磷一〇%、砒五分	探掘中止	膠濟線より三軒	鑛鑛體を有するも採業せず
魯大公司	山東省金嶺鎮	日委合辦	10,000,000元	600,000噸(1)	鐵五分、硫〇.二乃至〇.六、磷一〇%、砒五分	探掘中止	膠濟線より三軒	鑛鑛體を有するも採業せず
永平鐵鑛公司	河北省深縣	支那民營	7,000,000元	700,000噸(2)	鐵分平均五七.八%、鐵分中部四九.二%南部五四.〇%	探掘中止	平綏線宣化驛より七四軒、平綏線宣化驛より一〇軒	鑛鑛體を有するも採業せず
龍鳴山鐵鑛公司	河北省臨城、撫寧兩縣	支那民營	3,400,000元	3,400,000噸(3)	鐵分二七.九乃至一七.七	同	柳江支線より一〇里、灤縣驛を距る一八里	鑛鑛體を有するも採業せず
井陘鐵鑛公司	河北省井陘	支那民營	500,000元	500,000噸(1)	不詳	同	正太沿線	鑛鑛體を有するも採業せず
易縣鐵鑛公司	河北省易縣	支那民營	500,000元	500,000噸(1)	不詳	同	正太沿線	鑛鑛體を有するも採業せず
平孟鐵鑛公司	山西省平定縣昔陽	支那民營	1,500,000元	1,500,000噸(1)	赤鐵鑛分三七.九乃至五七.七、赤鐵鑛分五〇	同	正太沿線	鑛鑛體を有するも採業せず
晉城鐵鑛公司	山西省晉城縣	支那民營	7,000,000元	700,000噸(2)	赤鐵鑛分五〇	同	正太沿線	鑛鑛體を有するも採業せず
保定鐵鑛公司	山西省保定縣陽泉	支那民營	3,000,000元	3,000,000噸(1)	赤鐵鑛分五〇	同	正太沿線	鑛鑛體を有するも採業せず
長治縣隆城鐵鑛公司	山西省長治縣	支那民營	3,000,000元	3,000,000噸(1)	赤鐵鑛分五〇	同	正太沿線	鑛鑛體を有するも採業せず
高平縣鐵鑛公司	山西省高平縣	支那民營	3,000,000元	3,000,000噸(1)	赤鐵鑛分五〇	同	正太沿線	鑛鑛體を有するも採業せず
隰縣鐵鑛公司	山西省隰縣	支那民營	3,000,000元	3,000,000噸(1)	赤鐵鑛分五〇	同	正太沿線	鑛鑛體を有するも採業せず
臨縣鐵鑛公司	山西省臨縣	支那民營	3,000,000元	3,000,000噸(1)	赤鐵鑛分五〇	同	正太沿線	鑛鑛體を有するも採業せず
陽曲西山鐵鑛公司	山西省陽曲縣	支那民營	3,000,000元	3,000,000噸(1)	赤鐵鑛分五〇	同	正太沿線	鑛鑛體を有するも採業せず
臨縣鐵鑛公司	山西省臨縣	支那民營	3,000,000元	3,000,000噸(1)	赤鐵鑛分五〇	同	正太沿線	鑛鑛體を有するも採業せず
固陽鐵鑛公司	綏遠省固陽	支那民營	400,000元	400,000噸(1)	赤鐵鑛分五〇	同	正太沿線	鑛鑛體を有するも採業せず
武川縣白雲山鐵鑛公司	綏遠省武川縣白雲山	支那民營	100,000元	100,000噸(1)	赤鐵鑛分五〇	同	正太沿線	鑛鑛體を有するも採業せず
小計			700,000元	7,000,000噸(1)	赤鐵鑛分五〇	同	正太沿線	鑛鑛體を有するも採業せず

備考

- (1) は支那經濟年報より
- (2) は龍煙鐵鑛廠誌より
- (3) は中國經濟年報より
- (4) は中國鑛產より
- (5) は中國鐵鑛統計年報より

(滿鐵天津事務所調査課編北支鑛産要覽に據る)

45800000

0000 0855

